

## ブドウ「ルビーロマン」のジベレリン1回処理法

### 1 背景・目的

ブドウ「ルビーロマン」の種なし栽培では、果頂部周辺の果皮に亀裂が生じる「果皮ひび割れ症状」（写真）が発生しやすい。これまで種なし化はジベレリンの2回処理法で行われてきたが、より省力的で、果皮ひび割れ症状の軽減効果が期待されるジベレリン1回処理法について検討する。

### 2 技術のポイント

- (1) ジベレリン1回処理法は、満開3～5日後にジベレリン 25ppm にホルク rolフェニユロン液剤 10ppm を加用して行う（図1）。
- (2) ジベレリン1回処理法は、2回処理法（1回目のみホルク rolフェニユロン液剤 5ppm 加用）に比べ、商品性を損ねる程度の果皮ひび割れ症状の発生を軽減できる（図2）。
- (3) ジベレリン1回処理法の果粒肥大は、2回処理法より劣らない（図3）。



写真 果皮ひび割れ症状

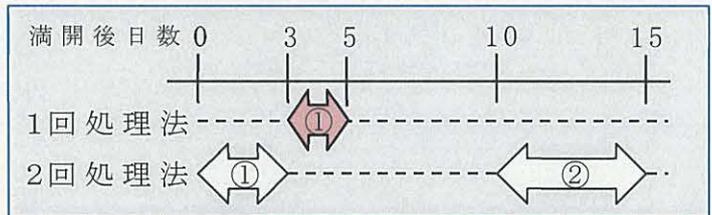


図1 ジベレリン処理時期

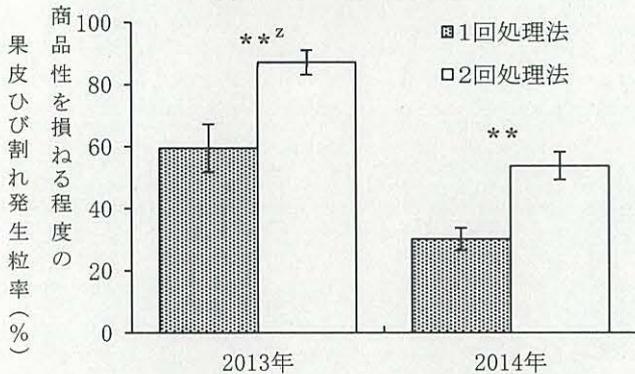


図2 ジベレリン処理法と果皮ひび割れ症状発生率の関係

(2013・2014)

\*t-検定により\*\*は1%水準で有意差あり

図中の縦棒は標準誤差を示す(2013;n=13 2014;n=64)

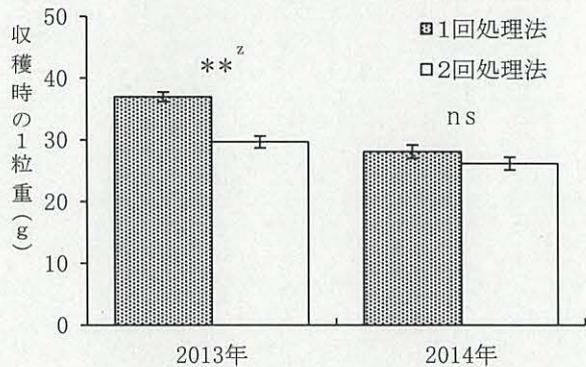


図3 ジベレリン処理法と収穫時の1粒重の関係

(2013・2014)

\*t-検定により\*\*は1%水準で有意差あり、

nsは有意差なし

図中の縦棒は標準誤差を示す(2013;n=13 2014;n=64)

### 3 成果の活用と留意点

- (1) 本技術は、果皮ひび割れ症状の発生を軽減でき、商品化率の向上に有効である。
- (2) ジベレリン1回処理法は、ホルク rolフェニユロン液剤の濃度が高いため2回処理法に比べ、材料コストが2倍程度となるが、処理にかかる作業時間は半分程度に削減できる。

問合先：砂丘地農業研究センター TEL 076-283-0073  
 担当者：早川隆宏・松田賢一